

SKIS II

取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

SKIS II

DUAL VC DECAY + VCA

省スペースで多機能なデュアル・ディケイ + VCA

BASTL INSTRUMENTSの定番のデュアルチャンネルのディケイ+VCAモジュール“Skis”が、“Skis II”に進化！

オリジナルのSkisモジュールをより堅牢でクリーンなVCA構造に再設計し、新しくボルテージ制御のディケイエンベロープ、さらにいくつかの便利な機能も加わりました。

Skis IIはデュアルチャンネルのディケイ・エンベロープとVCAを備えた省スペースで便利なモジュールです。

エンベロープとVCAは内部でノーマライズ接続されていますが、パッチケーブルを接続する事で個別にも使用できます。ディケイエンベロープはエクスponentialカーブで、リリースエンベロープに設定する事も可能です。2つのVCAはリニアカーブです。

またAチャンネルに入力したトリガーは、Bチャンネルに接続がない場合には内部でノーマライズ接続されるため、1系統のトリガーからA/B異なるエンベロープを作り出し、同じトリガーで異なるサウンドをそれぞれ違うエンベロープで鳴らす事も簡単にできます。さらに一方のチャンネルだけにCV信号を入力して変化のあるリズムやサウンドを演出するなど、アイデア次第で深みのあるバリエーションが得られます。

一般的なSkis IIの使い方としては2つのトリガーされた音声信号からパーカッシブなサウンドを作り出しディケイを調整する事ですが、回路用のジャンパでサウンドにエフェクトを与えたり、DECAY CVとVCA CVを利用した多彩なエンベロープカーブを自在にクリエイトできます。

あらゆるモジュラーシステムの基本モジュールとして、便利にクリエイティブに使用する事ができます。

Features

- ・デュアルチャンネルのボルテージ制御のディケイ/エンベロープ
- ・ディケイタイム : 8ms~3s
- ・エンベロープのゲート/リリースモード (ジャンパー設定)
- ・ノーマライズされたトリガー
- ・LEDでエンベロープを視覚的に確認可能
- ・デュアルチャンネルのリニアVCA (ENV OUTはVCA CV INにノーマライズ)
- ・タンバリン・バンドのためのジャンパー
- ・さらなるハッキングのための各ソルダージャンパー

Technical Details

- ・ 5HP
- ・ 24mm deep
- ・ 消費電流 +12V: <40mA, -12V: <35 mA
- ・ 10ピン・パワー・コネクタ

《重要な注意事項》

本モジュールをユーロラックの電源フレームラックに組み込む場合には、必ず電源ケーブルを電源フレームラックから抜いた状態で行ってください！また接続には必ず付属のリボンケーブルをご使用ください。接続する際はコネクタを接続する向きを絶対に間違えないように、細心の注意を払ってください。必ず複数回確認し、間違いないことをお確かめいただいてから接続するようにしてください。

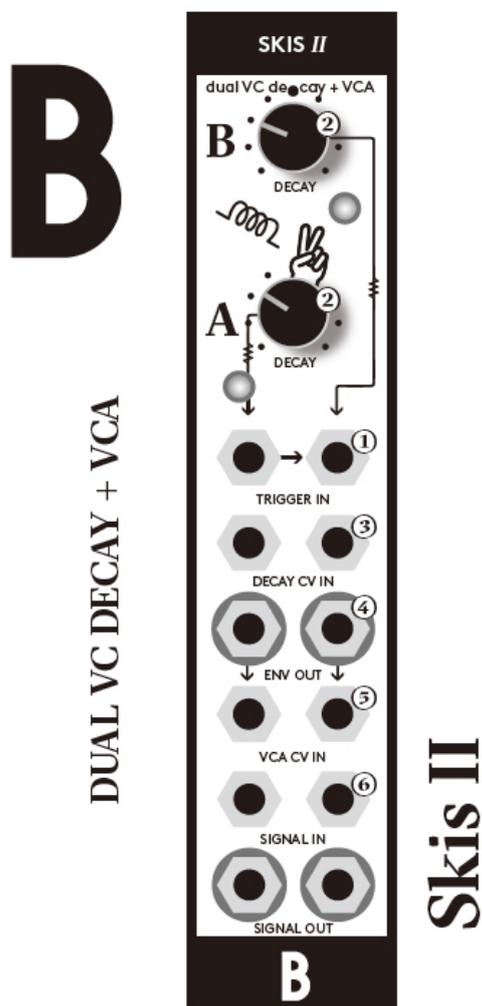
赤いケーブルがモジュール、バスボード共に-12V側です。

以下を再度ご確認ください

- 1、ラックがユーロラック規格の標準的なものか？
- 2、+12V、-12Vレールのバスボード規格か？
- 3、電源レールは最大の消費電流を超えていないか？

BASTL INSTRUMENTSの製品にはPTCヒューズとダイオードによる保護回路を搭載していますが、間違った接続や使用によるダメージはユーザーの責任となりますので、よくご確認の上でご利用ください。また電源が入った状態で回路や電源バスを手で触れることは、たいへん危険ですので、くれぐれもご注意ください。

Instruction



*以下の操作説明は、各イラスト図（フロントパネル、基板）の番号に対応しています。

1) TRIGGER 入力により DECAY エンベロープが開始されます。**チャンネル A の TRIGGER はチャンネル B の入力にもノーマライズされます。**つまり、チャンネル B にケーブルが挿入されていない場合は、両方のエンベロープがチャンネル A に接続された信号でトリガーされます。トリガーのスレッシュホールド値は約 1V です。エンベロープの自然なアタックは約 2ms であるため、2ms より短いトリガーはエンベロープの振幅に影響を与える可能性があります。この入力はトリガー（ディケイ）モード、またはゲート（リリース）モードで機能します。この詳細についてはジャンパー A を参照してください。

2) A/B チャンネルの各 DECAY ノブは各エンベロープのディケイタイムを設定します。ノブが最小付近では短いエンベロープをレンダリングし、12 時を過ぎるとエンベロープは「オープンハイハット」的なディケイタイムとなり、最大位置では約 3 秒のディケイタイムになります。最小位置では約 8ms です。

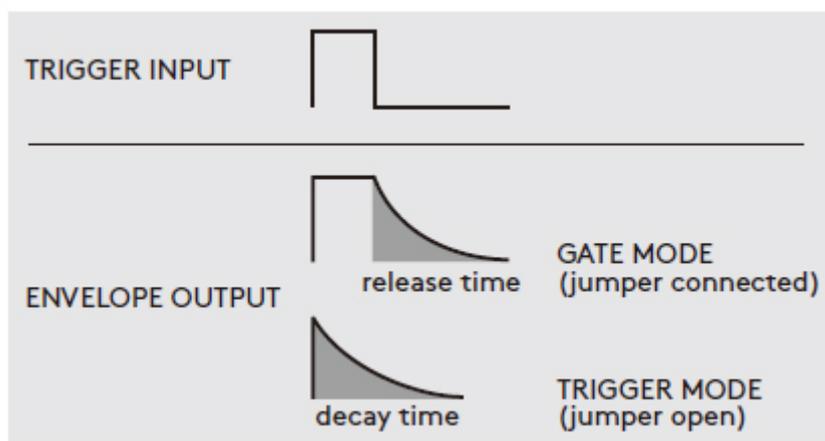
- 3) DECAy CV IN 端子に入力された CV でディケイタイムを設定できます。5V 信号で DECAy ノブのフルレンジになるようにスケーリングされています。
- 4) ENV OUT はエンベロープの出力です。エンベロープは約 6V でピークに達し、約-0.5V で静止します。エンベロープの実際の出力は LED で視覚的に確認できます。
- 5) VCA CV IN は、VCA のコントロールボルテージ入力です。エンベロープ出力は、この入力にノーマライズされます。この入力端子にケーブルを差し込むと、エンベロープのノーマライズされていた接続が切断され、VCA を個別に使用することができるようになります。VCA は CV 入力が 5V でユニティゲインになります（出力振幅が入力の振幅と同じになる）。
- 6) VCA は電圧制御のアンプであり、CV 入力の電圧に基づいて入力信号の振幅（ラウドネス）を変更します。CV 入力の電圧が高いほど出力が大きくなります。この VCA はリニアレスポンスのカーブです。0V =クローズ、2.5V =半振幅、5V =オープン（ユニティゲイン）、5V 以上=ゲイン。

A.

ゲートモード

TRIGGER 入力は、基板上のジャンパーA が閉じられている場合は GATE モードに設定されています（デフォルトではジャンパピンは閉じられています）。

GATE モードでは、エンベロープ出力はリリースエンベロープをレンダリングします。つまり、トリガー入力で信号が HIGH の場合、エンベロープ出力は入力が低下してから減衰（リリース）、エンベロープがレンダリングされるまで HIGH のままです。詳細は以下の図をご覧ください。



B.

TAMB ジャンパーをジャンパピンで閉じると、VCA セルが高いピッチ周波数で共振/自励発振する独特なサウンドが得られます。ノイズ信号を使えば、設定によりタンバリンの響きのように聞こえるようなサウンドメイクが可能です。これはモジュールの開発中に見つかった偶発的な機能で、サーキットベント的なアプローチです。回路は高周波で自励発振する可能性があることに注意してください（犬に迷惑をかける可能性があります！）。

★カットジャンパーに関する注意

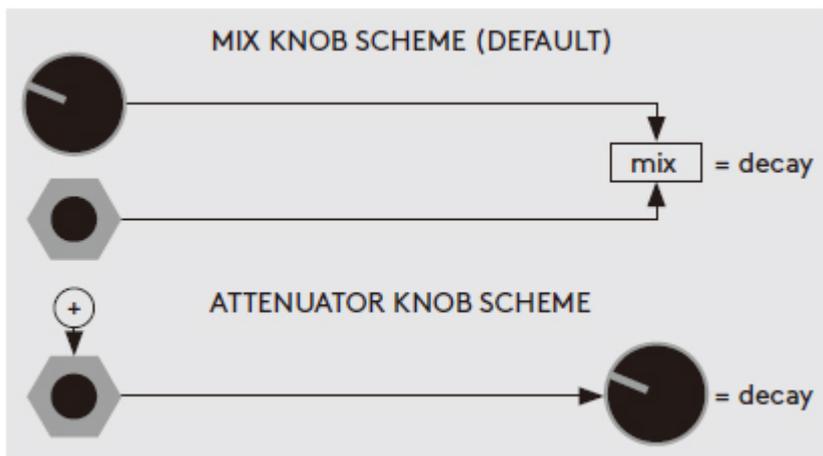
警告：これらのジャンパーを変更すると、保証が無効になります！

これらのジャンパーは、ハッカーに柔軟性を提供し、あまり一般的でないユーザーエクスペリエンスに対応するものです。構成を変更するには、はんだ付けの基本的なスキル（または鋭利なカッターナイフによる正確な切断）が必要となります。

C.

K_A

ノブの制御スキームを変更できます。デフォルトでは外部からの CV 入力はノブ位置の値にミックスされます。裏面のはんだジャンパーを改造する事で、ケーブルが DECAY CV IN に挿入されていない場合ノブは普通に動作し、ケーブルが挿入されるとすぐにノブが DECAY CV IN の信号のアッテネータに切り替わるようになります。詳しくは以下の図でご確認ください。



D

←

TRIGGER A 入力から TRIGGER B 入力へのノーマライズ接続は、このはんだジャンパーのトレースを切断することにより無効化できます。

